

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立美保関小学校）

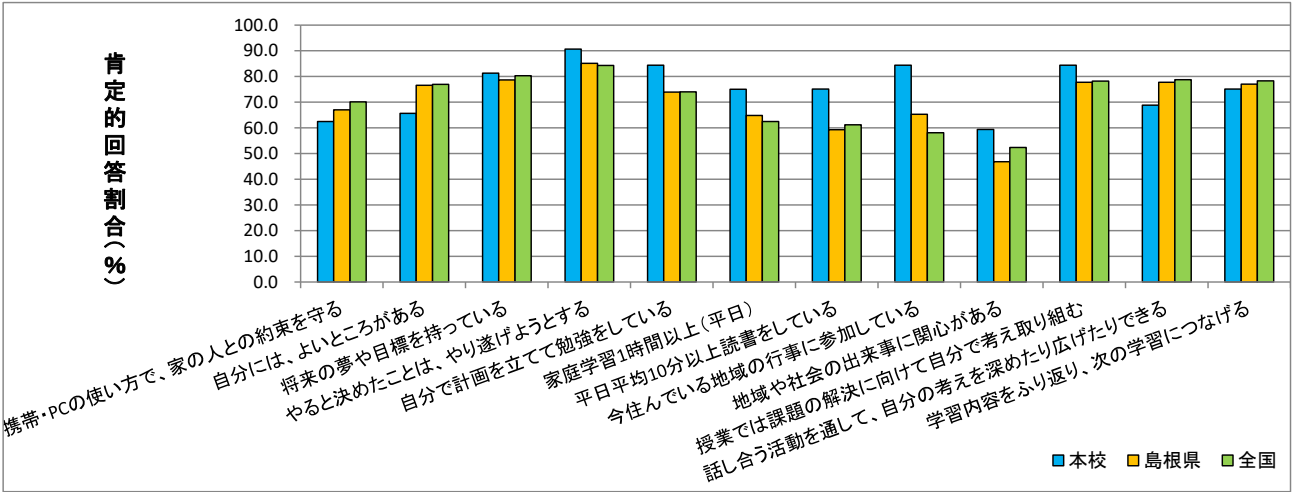
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○家庭学習の指導や書き取り・計算会の継続的な取り組みにより、漢字や言葉に関する問題は正答率が高い。 ●資料を読み、全体の構成を捉えて内容の中心となる事柄を把握したり、中心となる語句や文を見つけて要約したりする問題の正答率が低い。	・学校図書館と連携して、国語だけでなく他教科でも積極的に資料を活用した授業を行ったり、学年に応じて情報を活用する力を育成したりする。 ・目的や意図に応じて、資料を適切に用いて、自分の考えが伝わるように話したり、書いたりする学習活動を積極的に取り入れる。
算数	○速さに関わる問題と、棒グラフを読み取ったり、複数の帯グラフを比較して割合を考えたりする問題の正答率が高い。 ●図形の面積を求める問題の正答率が低い。 ●余りのあるわり算の商と余りをもとにして、生活場面に即して考える問題の正答率が低い。	・全学年で毎日ミニプリントに取り組み、基礎基本の習熟を図る。つまづきが見られた問題についてはくり返し指導して定着を図る。 ・学習したことを生活に生かす学習や発展的な内容の問題に取り組む。

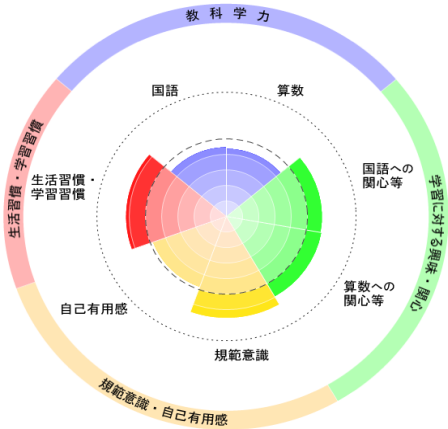
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
○地域の行事に参加している子や地域や社会の出来事に関心がある児童の割合が高い。 ○平日1時間以上家庭学習をする習慣が定着している児童が多い。 ●家庭で決めたメディアについての約束を守ろうとする意識が低い児童が見られる。	・自学メニューを活用して、自主学習の仕方やノートの使い方の指導を継続的に行い、家庭学習の内容の充実を図る。 ・メディアとの接触時間が長い傾向が見られるため、家庭と連携を図りながらメディア学習をしたり、「がんばるゾーカード」活用したメディアコントロールの取組を行ったりする。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・児童によるICT活用も含めて、情報を収集、選択して文章や図、表などにまとめたり、自分の考えを話したり、書いたりして表現する活動に積極的に取り組む。
・算数については、解き方の見通しをもち、図や式、言葉を結び付けながら自分の考えを表現したり、説明したりする活動を継続的に行う。また、必要に応じて習熟度別指導等を行うことによって発展的な学習を取り入れたり、個に応じた支援をしたりする。

【受検者数】 32 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。